

# 「あきさかり」の特性と栽培管理のポイント

## ○「あきさかり」の特性

(あわみのり×越南173号 福井農試育成)

- 1 「キヌヒカリ」と比べて、
  - 高温による白未熟粒の発生が少なく、玄米の品質は優れる。
  - 収量性は、20%程度多収。
  - 耐倒伏性は、同程度。
  - 出穂期は4日程度、成熟期は6日程度遅い。
  - 稈長は5cm程度短く、穂数は20%程度多い。
  - 穂発芽は、しにくい。
- 2 「コシヒカリ」と比べて、
  - 食味は、同等で良食味。



あきさかり

キヌヒカリ



## ○栽培管理のポイント

- 1 分けつが多い品種なので、株間を広くとり、疎植栽培にする。  
株間 24~22cm (45~50株/坪) 程度  
※試験では、疎植栽培することで増収しています。

	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	倒伏 程度	収量 kg/a	同左比 %
疎植 (44株/坪)	75	18.2	400	0.0	64.3	106
標準 (55株/坪)	74	17.2	423	0.0	60.8	100

- 2 肥料は、慣行の施肥量(「キヌヒカリ」と同程度)。
- 3 茎数が多いために紋枯病が発生することがあるので、適宜防除を行う。
- 4 葉いもち病に対して「やや弱」のため、適期防除に努める。
- 5 白葉枯病に弱いので、常発地での栽培は避ける。

## ○県立農林水産総合技術支援センターでの試験成績 (石井町 H21~27年度の平均値)

作期	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	収量	同左比	千粒重	品質	蛋白	備考
		月.日	月.日	cm	cm	本/m <sup>2</sup>	程度	kg/a	%	g		含率 %	
早期 4月24日~26日播	あきさかり	7.18	8.26	70	17.9	402	0.1	59.6	114	21.2	4.2	7.5	栽培密度は16.7株/m <sup>2</sup> 本田窒素施肥量は 基肥として0.5kg/a 種肥として0.3kg/a 倒伏は0(無)~5(甚) 品質は1(上上)~9(下下)
	キヌヒカリ	7.14	8.19	77	18.0	330	0.1	52.3	100	22.1	4.9	8.3	
早播え 5月13日~18日播	あきさかり	7.28	9.05	74	17.3	408	0.2	59.5	115	22.1	4.3	7.6	
	キヌヒカリ	7.24	8.29	80	18.1	332	0.0	51.7	100	22.2	5.2	8.3	
普通期 5月31日~6月2日播	あきさかり	8.08	9.14	74	17.4	366	0.0	58.5	123	22.1	4.0	7.5	
	キヌヒカリ	8.05	9.09	79	17.7	285	0.2	47.6	100	22.3	4.5	8.4	

徳島県・全農とくしま・徳島県米麦協会(平成28年11月作成)